

第1回 財務委員会報告

○開催日時

平成28年1月19日（火） 14時30分～16時45分

○開催場所

公益社団法人東京都不動産鑑定士協会 小会議室

○出席者

岩崎委員長、森川委員、松永委員

議事参加：神戸鑑政連会長、内田鑑政連会長代行、立花監事

○議題

- ① 鑑政連の歩みと不動産鑑定士制度推進議員連盟の立ち上げと活動について
- ② 鑑政連会費の納入率アップの方法について
- ③ その他

○内容

会費の納入率アップについて

表題の件に関して意見交換を行い、提出された主なる意見は次のとおりである。

- ・会費を納めようという気持ちにならない理由として、鑑政連の活動内容が分かりにくいという意見があるが、「政治連盟」の性質上活動の途中経過を公表することができない。
- ・活動内容として、地価公示の地点数に関する要望は毎年出さなければならないので、その活動だけが目立っているかもしれないが、「地価公示」以外のこと（農地評価、中古住宅等）も議連に投げかけ検討している。
- ・都道府県士協会に会費納入の呼掛けに協力してもらってはいかんか。
- ・ある大学では、大学卒業後の校友会費を入学時に先取りする方法を取っており、これを参考に良い仕組みを考えられれば、納入率アップが見込まれるのではないか。特に公的評価に携わっている方に向けてお願いすべきではないか。
- ・士協会長が集まる会議に出向いて、鑑政連会費アップの必要性を訴える。
- ・世間的に「政治献金」という言葉はネガティブなイメージなので、『議連と共に政策を考えるための活動費』とはっきり説明した方が使途が伝わるのではないか。
- ・会費が集まらなければ、それなりの活動しかできない。現在は自民党議員のみで構成された議連だが、やがて超党派にできれば「不動産鑑定士」の存在感が上がり活動の幅も広げることができるが、現在の経済状況ではこれ以上手を広げることができないのではないか。
- ・不動産鑑定士を深く理解する若手の議員を増やしていかなければ、今後の業界が行き詰っていく恐れがある。そのためにも経済面で、議連議員をバックアップしていく必要があるのではないか。

以上